



地域連携室です。

回復期リハビリの受け入れについて

私たち福角病院は、リハビリをご希望される患者様を可能な限りお受けしたいと考えております。回復期リハビリと言うと、対象疾患であることや転院までの期限があること等、必要な条件を満たさなければ対象にならず、条件に見合わない場合は、集中したリハビリを受けることがなかなか叶わないのが今のリハビリ体制の現状と思います。

1人でも多くのリハビリ希望の患者様をお受けしたいという思いから、各医療機関様より頂きました診療情報提供書を医師と拝見し、対象疾患の該当になるか確認の毎日を送っています。

公表されている回復期の対象疾患早見表は簡潔にまとめられていますが、その内容は意外と多岐に渡っており、「この疾患も回復期で受け入れできるの!？」と驚かれる医療機関の関係者の方も中にはいらっしゃいます。

対象疾患になるのかわかりづらい傷病名の場合は、こちらでも対象になるか確認できますので、お気軽に当院地域連携室までご相談ください。

MSW 正木

【回復期リハビリテーション病棟から】

【入退院状況 ～ H30.11 月末現在 ～ 】

- ①退院許可から当院転院までの平均日数 … 4.7日
(過去3か月間)
- ②在宅復帰率(過去半年間) …… 81%
- ③疾患別割合(11月) ……

脳血管	47%
運動器	41%
廃用症候群	7%

☆診療情報提供書を確認させて頂きましたら、医師等と受け入れについて速やかに検討し、お返事をさせて頂きます。

11月30日、ご近所の堀江公民館で文化祭がありました。作品展示コーナーでは当院の患者さんの俳句を展示、優秀賞を受賞されました。

『退院も 近と思ふ 小春かな』

午後の時間には、当院理学療法士の藤田から『転倒予防 ～座ってできる転倒予防トレーニング～』のお話があり、約40名の方々と一緒に体操しました。



安心の送迎体制

当院では、転院時の送迎に加えて、入院中の他院受診（整形外科等）の際にも送迎をしています。

看護師が同乗し、必要に応じて酸素や吸引できるよう準備します。

ストレッチャーやリクライニング車椅子の方も大丈夫。

ご安心ください。



車輛の1例

【在宅サービスのご紹介】

訪問看護ステーション福角



現在このような方が利用されています。（一部をご紹介）

- ※食事が口から摂れなくなって胃瘻を作ったけど自宅に帰ってきちんとできるか不安。
⇒ 一緒に実施しながらきちんと出来ているか確認し、ご負担が軽減出来るよう相談や支援を行います。

- ※人工肛門の処置が必要だけど上手に出来ないし、状態も見てもらいたい。夜間何かあったらどうしよう。
⇒ 必要があれば入浴介助を行い、皮膚状態を観察しながらパウチの交換を行います。何かあれば夜間や早朝でも訪問します。悪化や異常があれば主治医と相談しながら対応します。

- ※住み慣れた家で最期を迎えさせてあげたいけど、なにをどうしたらいいかわからないし、状態が悪くなったらどうしていいかわからない。不安。
⇒ 清拭やオムツ交換、口腔ケア、吸引等身の回りの援助を一緒に行いながら状態観察し、主治医に報告し指示があれば点滴等の処置を行います。夜間も何かあれば24時間訪問対応します。

利用をお考えの方はご相談下さい。TEL 089-978-5073

【診療科目】 ◇内科 ◇外科 ◇神経内科 ◇消化器外科
◇脳神経外科 ◇形成外科 ◇リハビリテーション科

相談員：辻中聡美・正木新太郎・松本詩織（回復期リハビリ病棟）
和田千佳（医療療養病棟）

看護師：三井稲子・上岡かよ子

ケアマネ：平田美穂子（居宅介護支援事業所『福角の里』兼務）

理学療法士：川口有里子（訪問看護ステーション『福角』兼務）

代表：黒河文博

☎地域連携室 089 (978) 7756 ※Fax 兼用